

土工特定技能1号技能評価試験

追加試験含み 28 名が合格



建設技能人材機構(以下 JAC)主催で9月15日に富士教育訓練センター(静岡県)で実施された国内建設分野特定技能1号技能評価試験(土工)は44人が受験しました。学科試験のほか、安全確認、プレートコンパクタの始動時の点検、締固め作業、プレートコンパクタの停止の一連の敷き均し作業の実技試験が行われました。

その結果、9月15日の試験では19人が合格しました。その後、JACは、10月16日に東京都港区のJAC事務所内で学科の追加試験を実施しました。その結果、追加試験の合格者も含めて、初の土工特定技

能1号対象者は28人となりました。合格率は64%でした。

建設分野では「土工」のほかに型枠施工、左官、コンクリート圧送、トンネル推進工、建設機械施工、屋根ふき、電気通信、鉄筋施工、鉄筋接手、内装仕上げ、とび、建築大工、配管、建築板金、保温保冷、吹付ウレタン断熱、海洋土木工の18職種あります。



土工のほか、鉄筋接手(8月)の2職種については既に国内技能評価試験を実施済みです。今後は、12月にトンネル推進工と電気通信の2職種の技能評価試験実施が予定されています。